

Audio Engineering Society

AESについて

AES(Audio Engineering Society Inc.)は、米国ニューヨークに本部を置き、日本をはじめ世界各地に支部を有するオーディオ技術者、研究者など専門家の団体で、オーディオに関する唯一の国際組織です。

AESは、オーディオ工学やその関連分野における科学発展に寄与することを目的として、1947年に設立され、50年以上の歴史を持ちます。現在、世界に約20,000名のオーディオ技術者や研究者などが会員として登録されています。

AESの活動

コンベンション (Convention) とInternational Conference

AES Conventionという大規模な大会を毎年、ヨーロッパ、アメリカ西海岸、アメリカ東海岸などで開催します。この大会は、各国の技術者や研究者による研究発表、ワークショップおよびプロ用を中心としたオーディオ機器の展示・紹介により構成されるものです。大会前や期間中には、多くの様々なオーディオ規格を話し合い、決定する委員会も開催されます。こういった研究発表や委員会に出席するため、世界の各地から参加者が集まりますので、ここでの研究発表は国際的に認知されるものといえます。

AESジャーナル (Journal of AES)

Journal of AESという英文雑誌が年10回発行されています。この雑誌は、録音、編集、心理音響、信号処理、音響変換技術、室内音響などを中心に、様々な最新オーディオ工学の研究開発に関する論文が幅広く掲載される格調の高いもので、世界のオーディオ技術の動向を知るには、必須の雑誌であるといえます。

AES東京コンベンション2005開催のご案内

AES日本支部支部長 由雄 淳一

AES東京コンベンション2005実行委員長 亀川 徹

AES日本支部では来る2005年7月12日(火)より14日(木)まで、

「AES東京コンベンション2005 (AES 12th Regional Convention, Tokyo)」を東京・科学技術館において開催するはこびとなりました。

今回のAES東京コンベンション2005は

「人・環境にやさしいオーディオエンジニアリング (What Audio Could Do for Humans and Environment in the New Era.)」をテーマとして開催いたします。